

井上不鳴 （あきり） 舊徳島藩醫。文化九年淡路國津名郡洲本生れ、明治  
二十五年一月四日歿（八二一九）。父は前村信近、其醫井上を眞の養  
嗣子とせらる。講嘉嘉猛・玄照、馱と修す。字は踐父、通稱仲庵。別號文會  
樓、春洋、春洋漁人、春漁、泡翁、臥游齋等。京、長崎の醫術を研鑽。  
嘉永二年種痘術傳來に、率先して阿波國に施す。また洋學の必要、洋  
式兵術を唱へて藩論を撰起した。明治前期翻譯家の雄井上勤の父。

著書に「大夢歌俗解」全二冊（明治五年）、「月臥游齋藏粹」（鹽谷玄陰  
著）、「大統歌俗解」（註、内題「大夢歌俗解」明治十四年十一月二十）、「  
白痴、中外堂」等。